

名古屋大学地震火山・防災研究センター2009年度年次報告会

日時：2010年3月23日（火）10：00-17：30

場所：名古屋大学環境総合館レクチャーホール（環境総合館1階）

10：00 - 10：15 センター長挨拶（ハイライト）

10：15 - 11：15 座長 田所敬一（タイムキーパー・会場係：道下剛史・白坂祥之介）

○山岡耕春

「実用的地震予測に関する国際会議の提言」

○渡辺俊樹・山岡耕春・生田領野（静岡大）

「弾性波アクロスのこの1年の成果」

○鷺谷威

「稠密GPS観測による断層帯周辺の詳細地殻変動」

○飛田潤

「大都市圏強震動総合観測ネットワーク：2009年度の観測状況と今後の展開」

【休憩 15 分】

11：30 - 12：45 座長 渡辺俊樹（タイムキーパー・会場係：小林由美・鈴木友理）

○田所敬一・杉本慎吾・渡部豪・奥田隆・宮田皓司

「熊野灘および駿河湾における海底地殻変動観測」

○杉本慎吾・田所敬一・奥田隆・渡部豪・宮田皓司（名古屋大学）・生田領野（静岡大学）・佐柳敬造・長尾年恭（東海大学）

「海中音速の時空間変化を同時推定する海底測位手法の開発」

○堀川信一郎

「地震観測に使用するバッテリー管理について」

○奥田隆

「職場の環境安全管理と衛生管理業務について」

○木股文昭

「大学の国際活動の一環としての JICA 研修」

【昼食休憩 45 分】

13：30 - 14：00 ポスター発表（コアタイム）

○伊藤武男・Mark Simons (Caltech)

「GPS を用いた地下構造推定の試み」

○小澤和浩

「GEONET で見た中部日本地殻変動と南海トラフにおけるプレート間固着の時空間変化」

○山本淳平・鷺谷威・伊藤武男

「GPSによる三次元地球潮汐応答の日本列島における空間分布」

○平井敬・鷺谷威

「地震間地殻変動から推定されるプレート境界面の状態：アスペリティ分布とモーメント蓄積速度」

○吉本昌弘・山中佳子・竹内希（東大地震研）

「DSMを用いた巨大地震の震源過程解析手法の開発」

○野村有紀・橋本千尋

「すべり依存の断層構成則を用いた二次元剪断破壊のシミュレーション：スロースリップイベントの研究」

14：00 - 15：00 座長 山中佳子（タイムキーパー・会場係：吉田沙由美・岡崎仁一）

○古本宗充

「ユーダQの周波数依存性」

○杉戸信彦・鈴木康弘・松多信尚

「平均変位速度分布に基づく糸魚川 - 静岡構造線断層帯の地震規模の推定」

○松多信尚

「台湾東海岸の津波堆積物」

○鈴木康弘・中田高（広島工業大学）

「遠州灘・熊野灘～四国沖の大陸棚外縁撓曲の再発見とその意義」

【休憩 15 分】

15：15 - 16：15 座長 杉戸信彦（タイムキーパー・会場係：佐々木朋樹・辻琢允）

○橋本千尋

「西南日本域のプレート間固着-すべり分布の推定とそれを用いた地震破壊伝播シミュレーション」

○光井能麻・堀高峰（JAMSTEC）・宮崎真一（京都大学）・中村和幸（明治大学）

「限られた期間のデータを用いたプレート境界面の摩擦パラメータ範囲の拘束：地震発生サイクルモデルのデータ同化手法開発に向けて」

○山中佳子

「ぬるぬる地震（津波地震を含む）の正体」

○中道治久・橋田悠・Daniel Minifie（英国ブリストル大学）

「地震学的研究からみた2007年御嶽山小噴火」

【休憩 15 分】

16：30 - 17：30 座長 中道治久（会場係：松村祥央・竹村裕樹）

○山崎文人

「御嶽山における地震火山活動」

18：00 - 20：00 送別会兼懇親会（於 花の木）